

国土数值情報（用途地域）

製品仕様書

第 2.1 版

第 1.0 版 平成 23(2011)年 3 月

第 1.1 版 平成 24(2012)年 3 月

第 2.0 版 平成 31(2019)年 3 月

第 2.1 版 令和 2(2020)年 3 月

令和 2 年 3 月

国土交通省 国土政策局

目次

1 . 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	1
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 . 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 . データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 . データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	4
4.1.2 指定地域パッケージ.....	5
4.1.3 用途地域パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	10
4.2 空間スキーマプロファイル.....	10
4.3 時間スキーマプロファイル.....	10
5 . 参照系.....	10
5.1 座標参照系.....	10
5.2 時間参照系.....	10
6 . データ品質.....	11
6.1 品質要求及び評価手順.....	11
7 . データ製品配布.....	14
7.1 配布書式情報.....	14
7.2 配布媒体情報.....	14
8 . メタデータ.....	15
(付属資料)	
1 . 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
2 . 符号化仕様.....	2

1. 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は、以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（用途地域）製品仕様書 第 2.1 版
日付：2020 年 3 月 13 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画の策定を支援することを目的とする。また、各分野で広く利用される事も想定している。

本データは、全国の用途地域（都市計画法第八条の一に基づく地域地区）の指定状況が把握できることを目的として整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は、以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省 国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は、次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（用途地域）製品仕様書第 2.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（用途地域）データ
- 日付：2020年3月13日
- 問合せ先：国土数値情報提供サイト運営事務局
URL：<http://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>
TEL：03-5259-0015
メール：shitsumon@ksjask.info
- 地理記述：全国

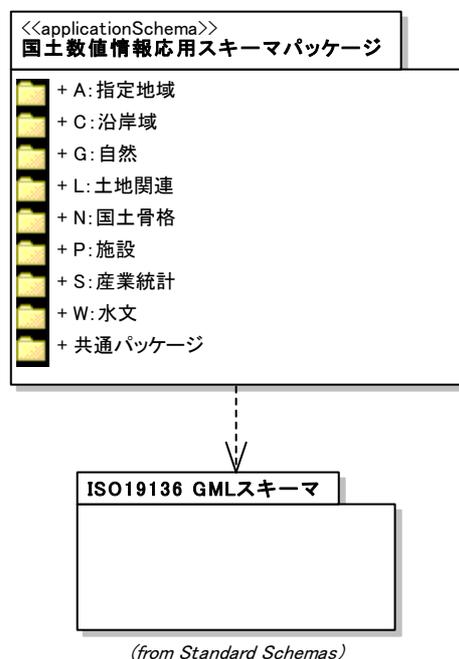
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

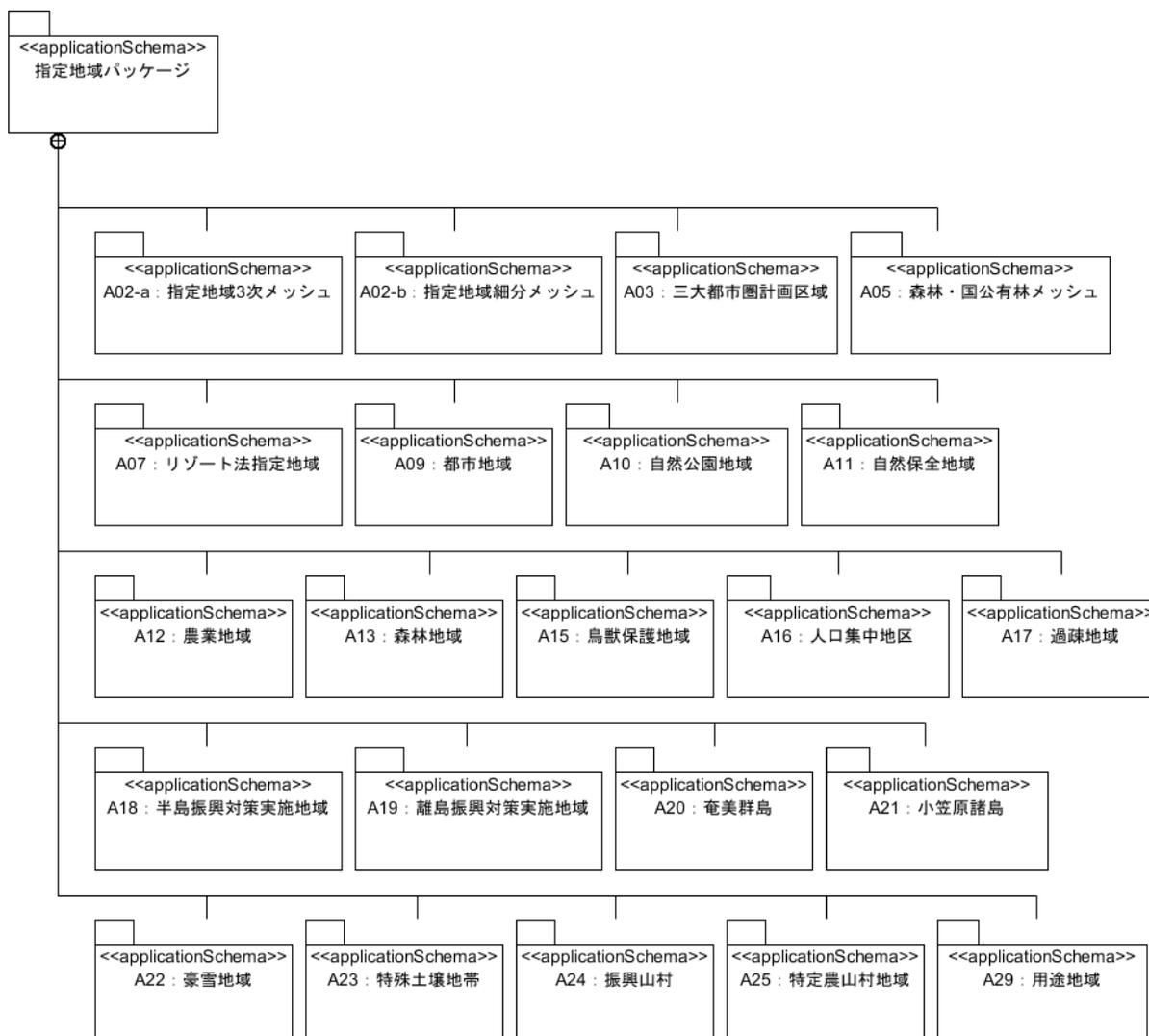
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、施設や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

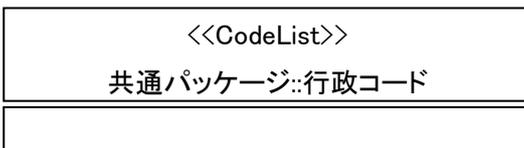
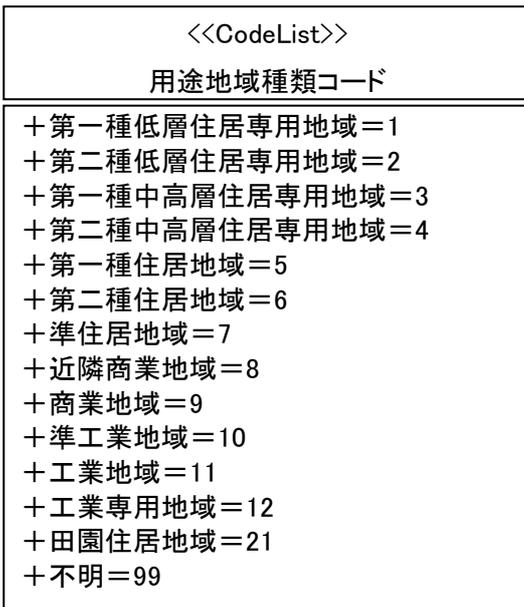
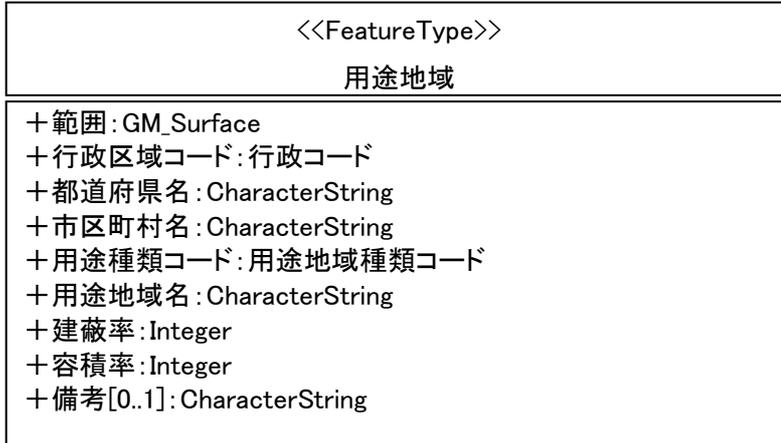
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 用途地域パッケージ

このパッケージは、用途地域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

用途地域

用途地域は、都市計画法に基づく地域地区（都市計画法第八条）として、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、用途別に分類される13種類の用途地域の集合で構成される。

上位クラス： 国土数値情報地物

抽象／具象区分： 具象

属性

範囲： GM_Surface

用途地域として参照図（都市計画総括図など）に記載された地域の範囲。

行政区域コード： 行政コード

用途地域がある市区町村の行政コード。

都道府県コード（JIS X 0401）と市区町村コード（JIS X 0402）からなる、行政区を特定するための5桁の全国地方公共団体コード（検査数字は除く）。JIS 規格（JIS X 0401, JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

例) 東京都千代田区 ‘13101’、埼玉県さいたま市 ‘11100’

都道府県名： CharacterString

用途地域がある都道府県の名称。

市区町村名： CharacterString

用途地域がある市区町村の名称。

平仮名、片仮名、漢字等は全角とする。特殊な文字は使用しない。

用途種類コード：用途地域種類コード

用途地域の種類コード

法改正により創設された「田園住居地域」は、‘21’とする。不明は‘99’とし極力確認する。

■ 定義域

「用途地域種類コード」がとりうる値。

「用途地域種類コード」の内容

コード	用途地域の種類
1	第一種低層住居専用地域
2	第二種低層住居専用地域
3	第一種中高層住居専用地域
4	第二種中高層住居専用地域
5	第一種住居地域
6	第二種住居地域
7	準住居地域
8	近隣商業地域
9	商業地域
10	準工業地域
11	工業地域
12	工業専用地域
21	田園住居地域
99	不明

用途地域名：CharacterString

用途地域の種類の名称。

「第一種」などの漢字は漢数字とする。

建蔽率：Integer

用途地域及び指定地域別の建蔽率（％）。

不明の時は‘9999’とし極力確認する。

容積率 : Integer

用途地域及び指定地域別の容積率 (%)。

不明の時は '9999' とし極力確認する。

備考[0..1] : CharacterString

用途地域に関する備考。

重複指定がある場合に限り、'第一種住居地域 60/200' と記載する場合がある。また、不明未確認の場合は、'不明未確認' と記載する。

なお、公開可否にあたり、公開可を除く条件付き公開の場合は、'条件付き公開' とし、公開不可の場合は、'公開不可' と記載する。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

本仕様書に関係のあるコードリストは以下のとおり。

- ・行政コード

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011 / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6. データ品質

6.1 品質要求及び評価手順

データ品質要素・副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	データ集合内に、参照資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率 (%) = (過剰なデータ数) / 参照データに含まれるデータ総数 × 100
データ品質評価手法	参照資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データの割合 : 0%

データ品質要素・副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	データ集合内に、参照資料と対応する地物データデータが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 誤率 (%) = (漏れのデータ数) / 参照データに含まれるデータ総数 × 100
データ品質評価手法	参照資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合 : 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所 (XML 文書の構文として正しくない箇所) の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム (XML パーサなど) による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム (XML バリデータなど) による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、応用スキーマが規定する定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとしてカウントする。 誤率 (%) = (定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	データ集合が持つ位相属性及び位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合（誤率）を計算する。 誤率 (%) = (位相一貫性のエラーの数) / 検査対象アイテムの総数 × 100
データ品質評価手法	検査プログラムにより、全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	参照資料（都市計画総括図など）が地図・データであるものに関して、地物と参照資料を画面上で参照資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	図上 0.3mm 以内（又は概ね 1～2 宅地分の誤差）

データ品質要素・副要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	地物属性を参照資料と比較し、参照資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	地物属性を参照資料と比較し、参照資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	時間正確度・時間測定正確度
データ品質適用範囲	用途地域
データ品質評価尺度	参照資料（都市計画総括図など）の作成年が、参照資料と対比させて一致しないデータの割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物時間属性の数 / 地物時間属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

7. データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符合化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 (GML) 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf?PublicAvailableStandard/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (用途地域) 応用スキーマの XML Schema は、付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 2.1 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0を採用する。

国土数值情報（用途地域）製品仕様書 第 2.1 版

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
指定地域パッケージ				
用途地域パッケージ				
用途地域		Designated Area		
範囲	SurfacePropertyType	cda	Cell of Designated Area	
行政区域コード	行政コード	aac	Administrative Area Code	
都道府県名	String	pfn	Prefecture Name	
市区町村名	String	lgn	Local Government Name	
用途種類コード	用途地域種類コード	dac	Designated Area Code	
用途地域名	String	kda	Kind of Designated Area	
建蔽率	Integer	bar	Building Area Ratio	
容積率	Integer	cbr	Capacity Building Ratio	
備考	String	rmk	Remarks	

2. 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified" version="2.3">
<!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
<!-- 基底要素 -->
<xsd:element name="Dataset">
  <xsd:complexType>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
          <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
          <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
        </xsd:choice>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<!-- 要素定義 -->
<xsd:element name="DesignatedArea" type="ksj:DesignatedAreaType" substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
<xsd:complexType name="DesignatedAreaType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>用途地域</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
      <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
        <xsd:element name="cda" type="gml:SurfacePropertyType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="aac" type="gml:CodeType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>行政区域コード</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="pfn" type="xsd:string">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="lgn" type="xsd:string">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>市区町村名</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>

```

```

<xsd:element name="dac" type="ksj:CodeOfDesignatedAreaClassType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>用途種類コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="kda" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>用途地域名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="bar" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>建蔽率</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="cbr" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>容積率</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="rmk" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DesignatedAreaPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:DesignatedArea"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DesignatedAreaMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:DesignatedArea"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="CodeOfDesignatedAreaClassType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>用途地域種類コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:CodeOfDesignatedAreaClassEnumType
ksj:CodeOfDesignatedAreaClassOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeOfDesignatedAreaClassEnumType">

```

```

<xsd:restriction base="xsd:string">
  <xsd:enumeration value="1">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第一種低層住居専用地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="2">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第二種低層住居専用地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="3">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第一種中高層住居専用地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="4">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第二種中高層住居専用地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="5">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第一種住居地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="6">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>第二種住居地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="7">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>準住居地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>
  <xsd:enumeration value="8">
    <xsd:annotation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:description>近隣商業地域</gml:description>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:enumeration>

```

```

    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="9">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>商業地域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="10">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>準工業地域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="11">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>工業地域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="12">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>工業専用地域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="21">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>田園住居地域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="99">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>不明</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CodeOfDesignatedAreaClassOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```